

い な づ ま

題字 小 寺 寛 一

発行所 函館地方電気工事協同組合
編集 総 務 部
住 所 函館市日乃出町7番22号
印刷所 晶 山 印 刷



中華会館

函館市大町1の12、弥生小学校の斜め向い、東坂の一角に建つ純中国風のこの建物が開館したのは、明治43年12月である。関帝廟形式の集会所としては、戦災で横浜と神戸の中華会館が失われたため、日本ただ一つとなった。

労働災害の防止について

函館労働基準監督署

伊藤次長講話 より

改めて云うまでもなく、経営者を含めて働く人々は健康で幸福な家庭を維持しているのであるが、万が一事故が発生すると、本人だけでなく家族の運命まで変えて不幸になるのである。我々監督官が現場に行く場合も、いろいろと現場の状況を聞いたり、又は注意をする場合もあるが、皆さんの事業に協力すると云う使命感を持って行なっているのでご理解していただきたい。

皆さんも充分承知していることであるが、労働災害の防止と云うことは簡単なものではない。『これだけやったのに災害が起きる。どうしたらよいのだろうか』と感じて居ると思う。

労働災害の件数は、全国的、全道的又は函館労働基準監督署管内でみても、こゝ二十年間に約半減している。全国的にみると昭和四十六年がピークで約四十八万人の労働者が業務上災害にあり、死亡者は六、七〇〇人であったものが、昭和五五年では被災労働者は三三、七〇〇人と減り、死亡者は実に三、〇〇〇人にまで減少したのである。

北海道でみると、昭和三十年がピークで、約三七、〇〇〇人が被災し、そのうち七、二三人が死亡しているが昭和五五年になって一五、〇〇〇件と減り、死亡者は二〇〇人と三分の一以下に減少したのである。

しかし、このように件数が大巾に減ったとは云うものの、交通事故と同じく北海道は労働災害の発生も日本一であり、労働災害の防止については監督署においても最重要事項と云うことで、安全パトロールその他を重点的に実施しているわけである。

函館労働基準監督署の管内は、渡島支庁と檜山支庁の一部を統轄しているが、昨年二五人の死亡事故が発

生し、そのうち建設業が約半分を占め、建設業の三分の一が電気関係に係わる事故で死亡している。

死亡事故一件のために事業が崩壊したり、補償の問題でこたえることになる。労災保険と民事裁判の損害賠償事件の調整と云うことが昨年から出来たので或る程度の歯止めにはなったが、裁判が通常行なわれ単に労災保険だけ又生命保険会社でやっているような補償関係だけではすまないと言いうことを充分認識して欲しい。又死亡に至らなくとも、災害障害者、重篤災害を発生した場合、監督署の処分だけでなく工事の一部停止とか公共工事であれば発注停止と云ったことが生じ、事業に重大な影響が及ぶことが予想される。又工事が停止になった場合でも事業主の責任による休業であるから、労働者を解雇することが出来ず休業補償を支払わなければならないことになる。

このように、時代的にみると労働安全衛生法施行の昭和四十七年頃から非常にきびしくなったのである。

社長が全然現場を見て居ない所で災害が発生したような場合でも、労働安全衛生法又は労働基準法では、事業主が共に現場に居たと同様な措置をうけ、罰則を受けること云った責任を科している。法人、代表者、現場責任者又は電気工事士とか云った免許者・資格者も一応責任者であると言いうことになる。従って事業主と共に現場に居なくても指揮監督をした実績があれば、労働安全衛生法に基づいて責任を問われることになる。

作業主任者とか電気工事士とか有資格者が、その時の工事の責任者でなく法律上の責任者である。責任のある職務なのだ認識しなければならないのである。であるから、安全教育をする場合は必ず記録を残して欲しい。例えば出席者名簿を作成し、途中で退場した場合はその旨の記録もしなければならない。現場に於いても教育通りの作業をしてなかった場合又は定められた保護具・防具を使用してなかったようなときはその場で注意をすると共に本人から確認書をとると云うようなきついことも実行しなければ、すべて事業主の責任を問われることもある。又僅かの作業だからと

云って定められた保護具・防具を着用しないで被災すると云うことはルール違反であり、常時ルール違反をやって居たと云う認定が下ればやはり事業主の責任であり、この辺に盲点があったのではないかと思考される。

死亡災害、重篤災害が発生した場合に、幾ら『教育をした。教科書を与えてある』と云っても、ルールに従ってやって居らなければやはり違反になるので、しばしばチェックをする等のがさきいようにやって欲しい。

このような対応を完全にしてあり、労働者が故意又は事業主、現場指揮者、技術者の命令・指示に従がわず勝手にやったと云うことが明白になれば、事業主の法律違反ではなく本人の過失であると判定されるであろう。

それから、最近が高年令化時代になった。現在の函館管内に於ける建設労働者の平均年令は四七才、林業労働者の平均年令は四九才であるが、これは一時的な現象でなく今後四十年間は続くであろうと云われて居り、昭和七〇年には五〇才以上の労働者が一五%、二五%になる。即ち実際に働くのは四〇代、五〇代に固まるのであろうと云われている。国の政策も高年令化になっているので、中高年令者に対する安全対策が必要となるが、第一に健康管理が重要視される。

健康診断をしないで労働させると事業主の責任になるが、最近難聴問題がクローズアップされている。全国で難聴の人を交通の旗振り作業に使用して交通事故にあった例が発生している。これは健康診断を実施して居れば事前に察知されることで、特に臨時に使用する労働者については全くといってよい程健康診断を実施されて居らないが健康診断実施の有無が問題になろうと思う。

又高年令になれば賃金も高くなると云う問題もあり当然就業規則や賃金規則の見直しと云ったものも考えられよう。

函館労働基準監督署には、毎年約一、〇〇〇件位の

死傷病報告書が提出されるが、『転んだ』『つまづいた』と云う足の事故、又腰の捻挫と云った事故が多く六割、七割の高年令者の怪我である。

電気業界においても、高所作業は若い人にまかせて高年令者は下廻りの作業と云う方法もあるだろうが、ベテランと云われる人は四五、四六才の年代の人でやはり先頭に立って作業をやらなければならないだろうから時代にあわせた対応策を考えなければならない。

現在は知らないでやったと云うことは通用しない。安全衛生法の概略も知らないのではよく事業をやってきたと云われる時代なので、労働安全衛生法をよく見直して欲しい。

過去において感電事故を二〇件程調査しているが、保護具の点検不良が五件、安全教育を無視したもの七件、事業主・作業主任者に問題がなく労働者の過失が二件であったが、やはり安全教育、常時点検が一番大事であると思える。

最後に災害について事業主自らが関心をもって安全に力を注ぎ、労使・労働基準監督署等関係者が一緒に災害防止に努力したい。



役員会だより

第八回役員会

五七・一・二八

一、慶弔報告

(一)、稲見電気商会代表者母堂死去

(二)、石高電気代表者病氣入院見舞

(三)、古川電気商会代表者死去

二、貸付報告

三社 一二〇万

三、各支部報告並提案事項

西 支 部 一二月一六日忘年会を開催

東 支 部 一二月二二日新年会を開催

福島支部 一二月四日新年会を開催

中渡島支部 一二月三日新年会を開催

江差支部 一二月二七日新年会を開催 (於函館)

中 支 部 一二月二一日新年会を開催

八雲支部 (八雲ブロック)

(一)北電、保安協会と三者合同の新年会を開催

開催

(二)ボランティア活動の打合

(森ブロック)

一月一一日北電と合同新年会を開催し

交通安全祈願をした。

(北檜山ブロック)

北電と合同新年会を開催した。

四、総務委員会事項

(一)、一般転貸融資の事故報告

(二)、新年宴会の開催要領について

(三)、組合加入申込について

五、技術・教育委員会事項

(一)、渡島支庁による電気工事業法の立入検査の実施

(二)、支部対抗技能競技大会について

(詳細別掲)

(三)、設計研修会の開催

(四)、北電業務研修会の開催について

(五)、北工連絡会の事項について

(議事録配付済)

六、事業委員会事項

(一)、共同保守管理業務コンテストについて

第九回役員会

五七・三・一一

一、慶弔報告

(一) モリヤ電飾代表者病氣入院見舞

二、貸付報告

三社 一三〇万円

三、各支部報告並提案事項

東 支 部 新規加入者について報告

北 支 部 一二月二一・二二日に古牧温泉に研修旅行を実施する。

八雲支部 (八雲ブロック)

(一)総会を開催し役員の改選を行った。

(二)町および北電より六名の来賓を交え、懇談会を開催した。

(北檜山ブロック)

(一)ブロック役員会を開催

(二)三月一〇日三水会を開催

(森ブロック)

二月一八日北電冬期安全月間行事として交通安全の講習を実施した。

江差支部 一二月八日安全講習会を開催し、交通安全救急法を講習した。

江差支部 一二月八日安全講習会を開催し、交通安全救急法を講習した。

江差支部 一二月八日安全講習会を開催し、交通安全救急法を講習した。

江差支部 一二月八日安全講習会を開催し、交通安全救急法を講習した。

四、総務委員会事項

(一)、新年宴会費用の報告

(二)、年末特別融資転貸資金金利の改訂について

(三)、北海道電気工事業政治連盟の設立について

二月一日付で道選挙管理委員会に設立届をすませた。

(四)、新規加入申込者の審査について

1、金子電化工業所 (江差支部)

2、三和電気商会 (江差支部)

3、南電設 (東支部)

4、瀬川電気 (東支部)

5、電気企画工業 (北支部)

3・4については支部了解、1・2・5は支部で末審査

末審査

(四)、相続加入

成田電気工業所 承認

五、技術・教育委員会事項

(一)、第五回支部対抗技能競技大会の報告

(詳細別掲)

(二)、渡島支庁による電気工事業法の立入検査報告

(三)、引込工料の調査について

北電で外線工事を含めて引込線工事の工料見直しのための調査を三年間に亘って調査をするので協力をお願いする。

協力をお願いする。

協力をお願いする。

六、事業委員会事項

(一)、各種保険の取扱いについて

(二)、全日電工連第三者賠償制度について

(三)、住友団体保険の配当金について

(四)、共同保守管理業務について

(五)、子メーター検満について

七、その他

交通安全協会より表彰を受けた。

組合行事

1月6日 御用始

10日 八雲支部 (八雲ブロック) 北電、保安協会と合同新年会

11日 八雲支部 (森ブロック) 北電と合同新年会

全日 東支部役員会

14日 福島支部、江差支部、八雲支部 (北檜山ブロック) 新年会

全日 訓練校主任指導員会議

20日	道工業組合役員会・委員会に大倉理事長、古田副理事長出席
21日	中支部会議兼新年会
22日	技術・教育委員会
23日	東支部会議兼新年会
24日	中渡島支部会議兼新年会
25日	第一回北工連絡会議（於組合会議室）
26日	江差支部会議兼新年会（於函館市）
27日	第八回役員会
28日	組合新年宴会（詳細前号掲載）
29日	北電関連工事安全衛生協議会に参加（於北電会議室）
30日	赤川支部会議
31日	北支部会議
12日	東支部会議
13日	厚生年金基金役員会・代議員会に大倉理事長出席（於札幌市）
14日	交通安全協会表彰式、新年交礼会に佐々木監事出席
15日	第五回支部対抗兼全道大会予選電気工事技能競技大会（詳細別掲）
16日	渡島支庁による電気工事業法立入検査
17日	北電業務取扱説明会
18日	道工業組合設計講習会の講師勉強会に西岡、平井理事出席
19日	全道電気工事技能競技大会審査委員会に吉岡委員出席
20日	北電工料調査打合会議に吉田副理事長、加賀理事出席（於北電会議室）
21日	共同保守管理業務について、北電、保安協会と打合会議（於組合会議室）
22日	全日電工連災害互助会に大倉理事長出席（於東京都）
23日	道工業組合役員会・委員会に大倉理事長、

20日	古田副理事長出席
21日	道工業組合総代会に大倉理事長外理事5名出席（於札幌市）
22日	三役会議
23日	訓練校技能照査（学科）
24日	函館地区中小企業団体事務長会設立総会に坂本事務局長出席（五嶋軒）
25日	訓練校技能照査（実技）
26日	八雲支部北檜山ブロック会議
27日	設計研修会（流通センター）出席者63名
28日	第九回役員会
29日	第一回三水会（北電都雨荘）
30日	江差支部会議
31日	中渡島支部会議
12日	北支部移動会議（於古牧温泉）
13日	小規模企業振興委員会に坂本事務局長出席（於函館商工会議所）
14日	昭和解説工業（新）
15日	函館市本通町一三
16日	電話五一八二〇
17日	北海道電設工事（函館電氣工事）
18日	函館支社
19日	支社長佐藤輝夫
20日	佐藤電氣工業所
21日	代表者 佐藤 功
22日	下山電氣商会
23日	函館市追分町二一〇
24日	菅原電氣商会
25日	（函）管原電氣商会
26日	（函）マルカワ古川電氣商会
27日	古川電氣商会

組合員の異動

〓商号・住所・住居表示の変更〓

（新） （旧）

一、昭和解説工業（新）

函館市本通町一三

電話五一八二〇

一、北海道電設工事（函館電氣工事）

函館支社

支社長佐藤輝夫

一、佐藤電氣工業所

代表者 佐藤 功

一、下山電氣商会

函館市追分町二一〇

一、（函）管原電氣商会

（函）マルカワ古川電氣商会

代表者 宮崎憲策	代表者 古川忠治
一、汐谷電機工業（函）汐谷電機工業	
一、久保田電氣工事店	
亀田郡尻岸内町	亀田郡尻岸内町
川上三四六	女那川二〇一
一、高野電氣工業所	
上磯郡上磯町	上磯郡上磯町
久根別二丁目二七	東浜町一三五
一、里見電氣工事	
上磯郡上磯町東浜町	上磯郡上磯町
二丁目二七	東浜町二一七

組合員消息

一、三月中旬

ユタカ電機（代表者伊東幾郎殿病氣入院（五月中旬退院）

一、六月一日

山本電氣商会代表者山本努殿怪我入院

一、三月一四日

（函）阿部電氣商会代表者阿部貞夫殿（ご母堂）逝去

一、四月一三日

葛西電氣商会代表者葛西和行殿（ご尊父）逝去

一、五月一五日

日本電氣保全（代表者細川政明殿（ご令室）逝去

一、五月二三日

マツヤ電氣代表者天谷光広殿（ご尊父）逝去

一、六月一日

里見電氣工事代表者矢本里美殿（ご尊父）逝去

随筆

中国を旅して その三

平沼智子

蘭州

西安空港より一時間二十分の空の旅、窓から見下す地上は茶褐色のゴビの砂漠。みどりのオアシスは見えない。上海から西安、西安から蘭州へと二回、帰りは蘭州から上海迄中国民航のプロペラ機、四十人位乗れるのではないと思う。機内への入口でもらった扇子は往は美しい牡丹、帰りは馬の絵が画いてあった。扇子は日本の扇子と全く同じ型態のものである。

蘭州は開放後蘭州と書く。蘭州は砂漠の中の街である。オアシスである。蘭州をとりまく砂山は西北の風が砂を運んで来て出来たものである。空港は砂漠の下真中にあり招待所も空港の建物に付属している。夕食後、砂漠の果に落ちる夕陽を見たがすばらしかった。いよいよ招待所の宿泊となる。

蘭州は開放後の街であり、年間雨量は三百二十ミリ中国で二番目に市内より遠い空港である。八十キロメートルはあるとの事、果物の産地で、くり、もも・りんご・なし等を産する。剪定が行き届いていないのでりんごなどは小さい。農作物はともころし、ライ麦が産する。黄河の水を引いて使用している。

七・八月の最高気温が四十度を越す。冬はマイナス二十七度迄下る。非常に差が甚しい。人口は百万人、開放後一番先に開発が始まった。

蘭州はアルミ工場、石油化学工業が盛んで、石油化学工業に三万人が従事している。石油化学コンビナートの下部組織として七つの工場がある。蘭州は開放前は人が住んでいなかった。この蘭州市は黄河に沿っており、黄河は五千六百キロメートルの河である。交通

の要点でここから各地え列車が出る。

中国には五十の民族が住んでいる。この内十四の民族がこの蘭州に住んでいる。又この蘭州にだけ住んでいる民族が三種ある。

甘肅省博物館

漢の武帝がほしがった馬の代表『飛燕の馬』が展示されている。青銅でデザインがすばらしい。飛んでいる燕すらひづめにかかる位の馬と云う発想で、ひづめの下の燕はまだ生命がある姿で翼をひろげ飛び上る感じである。馬は実に写実的で胴から尻にかけての力感、武帝ならずともほればれる。又青銅の戦車があった。四頭の馬が引く車に將軍が乗り、後に兵士がつく。馭者の持つムチが細い細い青銅で先がクルリと巻いている精巧さに引かれる。

書で有名な『王羲之』の原本石碑があった。立派な筆跡である。

五泉山公園

五つの泉があるとの事でこの名がある。階段が高く大変であった。特別休憩室のソファに腰をかけたとたんダウンしてしまった。メロンと西瓜を気付けの水替りに食べて二時間位ひる寝をした。十五日間でひる寝をしたのはここだけである。精力的にどん欲に見たり聞いたり時間をムダなく使ったつもりだったが、ここの石段は本当にきつかった。いつも運転手や通訳の休憩中にメモの整理をするのだがさすがの私も音が出なかった。

泉を見に行った人の話では三つは見えたがあと二つはわからないとの事、この公園のとなりは動物園でパンダが居るとの事で廻り道をして降りる。だがパンダもひる寝との事で御対面はかななかった。

蘭州から酒泉

夜行列車（軟臥車）の旅である。夕方五時、北京発西安經由ウルムチ行の寝台列車に乗る。日本の普通急行の寝台列車よりはいい。上下二段一ルーム四名、サービスは満点、一時間おきにボーイがお湯のサービスに来る。窓際にテーブルが取りつけてありその下に大きなボットが置いてある。ガタガタしても倒れないように金のベルトがかけてあり、お茶の葉も置いてある。

ほうじ茶の香りがたいては香りはかすか、うすい色のついたお湯をのむような感じである。急須があるわけではなく湯呑みにお茶の葉を入れお湯を注いで上ずみを飲むわけだから湯呑みはすしやの茶わん位に大きい。ひろがった茶の葉が半ばまでたまっている。ホテルで経験しているので中国茶を使用せず、日本茶や紅茶のティーバックを使用した。今回の旅行の経験として持参したお茶を朝出発する時に水筒に入れて出かけるのが二時間もすると味が落ち、よいお茶であればある程苦味が出る。ムギ茶を持参した人の勝であった。又出かける機会があれば今度はムギ茶のティーバックを持参しようと思っている。

列車の食堂は日本と同じだが材料の限定がある故かホテルより落ちる感じである。

又洗面所は蛇口が真中に突出して、洗面台が小さく日本人の洗面の仕方では顔がぶつかってしまう。どんな風にして洗面をするのか首をかしげた。

列車は乗降者があるのかないの夜中でもよく止まった。一つには給水の為もあるのかも知れない。五時すぎ窓のカーテンを開いたがまだ真暗だ。日本と一時間おくれと云うが上海と酒泉では相当のズレがあるのではないかと思はれる。列車はゴビの真只中を走っているのであらう。八時すぎ待望の初連山脈が右手に見



えてきた。
夜中、眠っている間に雨が降ったとの事、年間二・三百ミリしか降らない雨なのに恵みの雨である。相当の奥地え来たと思はれるのに、何となく暑くないのは昨夜の雨のせいなのかも知れない。

酒泉

酒泉は田舎の町オアシスの町である。ここではじめて荷車をひくラクダを見る。招待所で昼食、昨夜列車で砂糖のかかったトマトのせいか下痢をしてしまった。酒泉は人口二十五万人、市内に五万人、週辺に二十万人住んでいる。海拔四千四百メートル、年間の降雨量は八十ミリメートル、平均温度六・八度、農作物は小麦とうもろこしである。酒泉も宿泊は招待所、シャワーはお湯のみで水は出ず総じて蘭州より落ちる。だんだん下って来た。

鐘楼

ここにすばらしい鐘楼がある。

東華嶽迎—ひがし、がくをむかえ
南祁連望—みなみ、きれんをのぞみ
西伊吾達—にし、いごにたつし

北砂漢通—きた、さばくにつうず

この扁額が四方にかかって東西南北四つの入口のある鐘楼兼門がある。二階は鐘楼下方が門となって東西南北の道に通ずる。清時代に最後の修理をしたとの事、三階は清時代に新しくかさあげしたとの事である。酒泉の町の中心に位置し、二階にのぼって東西南北の道路をみると、雲の彼方と云えば大げさに聞こえるが真すぐのびた道が四方に広がり本当に先はかすんで見えない。日本の古代の道路から考えると相当に広い道巾である。建物はレンガ積みにしっくいで脚部が門で四方に自由に通ずるトンネル式でトンネル内は風が吹きぬけて大変涼しかった。通りの向い側に吾々を眺める人垣が出来ていたのには驚いた。

夜光の盃

ブドウの酒、夜光盃

と詩人がよんだ夜光盃の工場を見学する。ブドウ酒を入れるのだから白いのかと思ったら黒に近いみどり色で、その緑地の間に白く斑が入っている。ブドウ酒がわからないのではないかと質問に、月にすかして白い斑からすけて見えるのが本当の盃なのだそうだ。原石は祁連山の石で相当深く掘っているとの事、本当の白い原石は美術品に使用している。全部一ヶ一ヶの手仕事であり、機械で型取りをしたあとは、同じ石の粉で磨く。若い女性が数人居て一つづつ磨いていた。量産出来ない理由である。

酒泉公園

霍去病の故事の泉がある。武勲をほめられて皇帝から酒を賜ったのを、自分だけで飲まずに泉にあけて泉の水を将兵と共に飲んだと云う故事である。

その泉はあったが意外と小さい。当時はもっともって広かったのではないだろうか。柵をめぐらしてあって水は飲めない。現在迄涸れることはないとの事である。

かよくかん
嘉峪関

ゴビの砂漠の中に建てられた関閤を持つ関所である。立派な建物で関所と云うよりは砦として使用していた。明代のもので玉門関・陽関は漢代のものである。中国三関の一つである。

三層の楼閣はまだ彩色もしっかりしてをり匈奴に対する要めとして往時は兵士が相当数生活していたと思はれる。詰所のような広いところの壁に墨の落書きらしいものが数ヶ所残っていた。日本の五世紀、六世紀ごろ東国から九州筑紫に防人として出征したのと同じではなかったのかと思はれる。

嘉峪関は人口七万人、製鉄所がある。開放後の新しい土地である。万里の長城の末端に近く、長城はもう土堤となるところどころ崩れている。

ラクダに乗る

門外にラクダを引いた現地人が居りラクダに乗せてお金をとっている。一回一元（一えん）、女の子がたづなを引いて十歩も歩くと朱塗の門の前、一廻りして引返す所要時間一分。ラクダは膝を折って人を乗降させる。その時誠に悲し気な悲鳴に似た声を出す。ラクダは一寸もラクでないと声をあげているのかも知れない。乗る方もラクではない。こぶとこぶとの間に乗るのだが、安定感が誠に悪い。手でささえるものがなく敷いてある布をつかんでやっとの思いである。乗る時より降りる時の方が恐しかった。乗心地のよいものではない。ラクダはラクでないと云う結論である。

橋湾城址

酒泉よりマイクロバスとなって安西に向う途中の砂漠の中にあり、半ば崩れて砂に埋もれてしまった城址である。清時代、今より二百五十年前のものである。これもやはり匈奴えの備えである。小休止の時、城址の砂の中からいんなものが堀り出された。

清時代の通貨、陶器の破片、紋様のはっきり出ている瓦、やじり等々で時間をかければまだまだ貴重なものが見つかるとある。一寸砂を堀っただけなのに。先生方は大さわざであった。通訳と案内人は持ち帰ってもよいと云っていた。

風が強く砂を巻きあげ帽子がとんでしまう。マスクを持参せよとの注意はこの辺で使用する為だったのか早々にバスに乗ってしまった。それでも顔はザラザラである。

安西

安西は敦煌方向とウルムチ方向との別れ道である。国内で一番風の強い地区で年中吹いている。春が一番強い。風の強いに対してポプラを植えた。このような所が三十九ヶ所もある。すべて開放後の政策である。こも宿泊は招待所、だんだん落ちて来て、ここは食堂は勿論、シャワー、トイレ、洗面所等全部別棟であ

る。部屋はたたきの通路の片側に一列に部屋が並び、片側は処々に窓がある壁、入口は鍵のない観音開きの戸があるだけ、部屋の中はたたきでベットが壁ぎわに二台、小さな机一ヶ所だけである。椅子はない。高い電柱の外灯はポヤポヤで足元がぐらく懐中電灯を早速役立てる。

ここは開放軍の基地であるらしく若い兵士が沢山居り、何台もの軍用トラックが止まっていた。かまぼこ兵舎も何棟もある。中国では国民皆兵で男子十八才、陸軍は二年、海軍は三年の義務がある。

日本の早稲田大学の自転車旅行の一行と会う。声をかけたら西安大学の学生達と合同で敦煌まで自転車との旅との事であった。招待所の庭にテントを張っての宿泊である。舗装してあるとは云え砂漠を自転車とは勇ましい。だが古代は歩いたのだから驚くことはないのかも知れない。

部屋に虫がいて朝目がさめたら足が赤くはれていた。部屋の隅に深い洗面器が置いてあったので顔を洗うものかと聞いたら、添乗員は首を大仰に振ってノーと大声。食事の食器も身体もすべて一つで間に合はせているとの話で又ビックリ。

敦煌

敦一大きく

煌—盛ん

敦煌とは大きく盛んな町と云う意味である。

三時半起床で敦煌え向う。ゴビの端を真すぐに二時間半一路莫高窟え。ポプラの間から洞口が見え出す。

敦煌は年間雨量は三十ミリ、乾燥がはげしいので文物は完全に保存されている。敦煌県（中国の県は日本の町にあたる）として出土した文物を展示してあるところが二十六ヶ所もある。

見学した敦煌博物館にだけでも三千点からの展示品があり、三室に別れ、第一室は莫高窟の藏経堂（問題の第十七窟）の文物で、教典が多く漢文とチベット語（次頁下段へつづく）

全北海道電気工事技能競技大会及 当組合支部对抗技能競技大会始末記

◎第4回支部对抗技能競技大会

恒例の支部对抗兼全道大会予選の競技大会は2月14日函館市訓練センターで行われた。

昨年に続いて福島支部が不参加であったが、あと8支部で少年組4名、青年組14名、壮年組9名、合計27名と昨年度の17名をはるかに越す大量の選手が競技に参加した。

課題について例年ならばこの時期既に全道大会の予定課題が決っていて、それを採用してきたが今回は課題が未定のため、当組合の訓練校吉岡指導員が中心となって作成した独自の課題を採用した。

昨年の大会では課題がむづかしく、競技時間を再度に亘って延長し4時間もかかった経緯もあり、本大会については多少課題は易しくても全員が時間内に終了する様に配慮した。それでも前もって課題を練習した者とそうでない者との差が時間の経過によって差が出てきた。とに角全員が時間内に終って審査に入った。課題が易しいだけに得点が伯仲して採点に時間がかかったが予定時間で終了する事が出来た。



表彰式後、競技委員長の北電函館営業所牧野配電課長の講評があった、各組一位の選手は全道大会の出場権を得、その活躍に期待をかけて本大会は例年になく出場選手も多く、見学者も多数来場して盛会の裡に閉幕した。

◎第14回全北海道電気工事技能競技大会

5月21日釧路市厚生年金体育館で行われた本大会は折悪しく肌寒い日であったが、全道11単協から少・青・壮各組13名づつ計39名の選手達は斗志一杯開会式に臨んだ。セレモニーのあと競技上の注意事項伝達があり9時30分競技開始となった。

会場の体育館は広大な建物で競技会場のアリーナも広く競技のスペースも充分であるが、周囲の観覧席からは少し遠い感じであった。課題は当番組合の釧根協組の作成したもので、昨年のもより易しくなっているが少年組は電磁閉器を使用した課題となっている。青年・壮年組は課題が安易なだけに、細かい技術的な減点で採点の際に伯仲するものと予想された。各選手とも事前に充分な特訓を行ったと見えて盤面上は何れも遜色はない様にみえた。

競技時間は予定通り全員が終了したが、例によって誤結線による不点が少年組に3名、青年組1名と出た。当組合の3選手は壮年組の神馬義広君（加賀電気）は7位、青年組の大高重利君（樺電工業）は善戦して4位少年組の川村英雄君（函館拓北電業）は誤結線で失格した。予想した様に僅少の減点差での順位で3選手とも大層残念がって、来年の再度の挑戦を誓い合うと云う場面もみられた今年の大会の結果であった。

の文物である。時代は北魏から晩唐迄との事、ここに展示されているものは全部本物で複製品はない。仏教道教、ラマ教に関するものが多い。

第二室は狼煙台のもので時代は漢。木管、絹が発見されて展示してある。当時、狼煙台に勤務していた兵士の使用したものであろうと思はれる。又当時の農具や生活必需品も展示されてをり、兵士の生活が偲ばれるように思う。

現在、狼煙台は敦煌県の先百五十キロメートルの地点に七四基残つてをり、万里の長城の址もある。

敦煌文物研究所の所長さんは、歓迎の挨拶のあと、吾々の祖先はすばらしい芸術を持っていた事を誇りに思っていると申して居られましたが、本当に敬服に値すると思つづく感じます。（以下次号）

※支部对抗技能競技大会※ 入 賞 者

少年組	第1位	第2位	第3位	青年組	第1位	第2位	第3位	壮年組	第1位	第2位	第3位
第1位	川村 英雄	函館拓北電業(株)	東支 部	第1位	大高 重利	樺電工業(株)	北支 部	第1位	神馬 義広	加賀電気(株)	北支 部
第2位	鹿角 元	ユタカ電機(株)	東支 部	第2位	西村 善光	函館青山電業(株)	雲支 部	第2位	松田 正志	渡田電気(株)	北支 部
第3位	福田 俊雄	ユタカ電機(株)	東支 部	第3位	宮崎 悦夫	函館拓北電業(株)	東支 部	第3位	秋田 岩継	共栄電気工業(株)	江支 部

■支部だより■

◎八雲支部総会・創立十周年記念式典

四月三日(土)午後二時より八雲町「ホテル光洲」において総会が開催されました。

後藤支部長の挨拶に次いで大倉理事長の挨拶があり

山内工業側の山内尊洲氏が議長に選出されて議事に入りました。

第一号議案の昭和五十六年度事業報告が、支部、各ブロックごとの担当幹事から報告されて承認、第二号議案（決算報告）、第三号議案（事業計画案）、第四号議案（収支予算案）と順次に慎重審議されて承認され、第五号議案の改選改選については選考委員によって選出され、支部長には後藤又蔵氏が再任されました。又あわせて総代十三名も選出され、午後四時、無事総会が終了いたしました。



引き続き午後五時から同会場において、支部創立十周年記念式典が行なわれました。

物故者に対する黙禱のあと後藤支部長挨拶、大倉理事長ならびに北電の吉田八雲営業所長から祝辞があり永年に亘り業界の指導者として貢献された岡田辰之助氏、支部創立以来役員として貢献された岩越・谷・松浪・山田・金本の五氏にそれぞれ感謝状、表彰状と記念品が贈呈されました。

念品が贈呈されました。

岡田辰之助氏の喜びに溢れた謝辞に次いで祝電が披露され、北電の工藤北樹山営業所長の祝盃で祝宴に入りました。

八雲町選抜きの美女のお酌にカラオケの声も一段と賑わい、午後九時北電の正井森営業所長の乾盃により無事終宴となりました。

（坂本事務局長取材）

● 北支部『古牧温泉』で移動会議

三月二十一日午前十時十分函館発青函連絡船『津軽丸』は北支部一行一六名を乗せて出港しました。

吹雪の津軽海峡に船は右に左に大きく揺れながらも洋上結婚式の若いカップルに乗客はあたゝかい拍手と祝福を送り、無事青森港に到着。ちなみにこの若いカップルは、一年前に同じ『津軽丸』で旅行中に知りあったとのことでした。

青森から三沢までの特急『はつかり』の車中約一時間は、日本電設工業の大坊支社長より電車架線のいろいろ、保守の苦労話であつと云う間にすぎ、三沢駅に降りた時は驚くなれ積雪一〇センチと云う天候でした。

古牡温泉には始めてと云う人が思ったより多く、東北一を誇る大岩風呂に驚きの声も聞かれましたが、以前のように女性の入浴シーンを見られないのが不満だと思つたのは小生だけではなかつたようです。

後で聞いた話ですが、修学旅行の生徒を受入れるようになったためと聞きましたので念のため。

昔、大地主の住居であつたと云う建物の一室に案内されて会議を開催したのですが、尺五寸もある柱にコンセントがついてあり、どのように配線されているのか詮索する等なごやかな雰囲気の中で進められ、会議終了後は賑やかに懇談会を催し、最後は温泉のアトラクションに時を過ごし翌日午後四時、無事帰函いたしました。

（坂本事務局長取材）

追悼記



故三浦真男氏は、長男俊和さんの婚礼を二十日後に控え、喜びも楽しみも一段と深まり、その日も幸福な朝を迎えた五月三十日であった。しかし、突然おそつた病魔は家族、知人の願いも空しく、六月十日無情にも遂に帰らぬ人となってしまいました。

故人は、大正九年一月四日樺太に生まれ、昭和九年函館市立新川尋常高等小学校を卒業、昭和十一年帝国電力（株）函館営業所電路係に入社されました。

昭和十五年電信第五連隊に現役入営、昭和二十一年六月終戦になり復員、同年九月北海道配電（株）函館支店線路課に復職され昭和五十年一月停年退職をされましたが、電気から離れたくない熱情から同年六月、当組合の図面関係業務担当者として奉職されました。

数多い若手工事業者の良き相談役、指導者として皆に親しまれ、三浦の親父さんと頼られて七年目を迎えたのであります。私も三十年来の良き酒の友であり、楽しいにつけ悲しいにつけ夜遅くまで酒を飲み交した姿が今も臉に残って居ります。

長男の結婚式には『大いに酒を呑み歌も歌う』とその日の来るのを心待ちにして話をしていた姿が懐かしく思い出されます。

病床にあって、なお仕事の事を心配して居られましたが、組合員に不自由をかけることなく昨日も今日も貴男の机は活動をして居りますので、何も心配しないで心安らかに静かに眠り下さい。

生前の貴男を偲び、謹んでご冥福をお祈りしつつ、追悼記といたします。

工藤 義一

あかるい明日を技術でひらく

東芝電材株式会社

函館営業所

040

函館市大縄町二十二番十四号
電話 函館 四一―二二四一



三菱電材特約店
あらゆる電設資材卸

隆東電機株式会社

函館市西桔梗町五八九―一〇八
電話 四九―六二二六

吟味する

松下電工株式会社

函館営業所

函館市昭和町三九六の一
電話 函館 四二―五八二一

電設資材・機電綜合卸

進和電機株式会社

040 函館市松川町三四―一三
電話 四二―六二二一

工事材料・電化製品

丸晃電気株式会社

函館市西桔梗町五八九―四九
電話 四九―一三一三

明日をひらく電設資材の綜合卸商社

株式会社工ミヤ商会

函館営業所

函館市富岡町二丁目四一―七
電話 四三―三〇一一(代表)
本社・札幌 支社・東京 営業所・釧路
出張所・苫小牧

全道随一の照明設備センター

電設機器資材の綜合電機卸

大興電機株式会社

本社 函館市西桔梗町五七―二〇
電話 四九―六二二一
照明 函館市千才町十九の三
電話 代 二二―七二四八
営業所 札幌・八雲・福島

電気工事材料
音響通信機器 綜合商社

石垣電材株式会社

函館営業所

本社 060 札幌市中央区北六条西二丁目一―番地
支店 063 苫小牧市新中野町二丁目三番二―番
010 函館市中央区六番一―番
函館営業所 010 函館市中央区六番一―番
(〇二三八)五五一四二二番(代)